



松本零士氏

肝付さんに感謝 「999に同乗して旅をした同志」

2016年10月25日

肝付兼太さん死去

「銀河鉄道999」の作者、松本零士氏（78）は「999に同乗して旅をした同志。大切な人を亡くしてしまった」と悲しんだ。

車掌は「未来へ向かう少年を守り、助ける大切な役」であり「肝付さんの車掌は安心感を与えてくれた」と感謝した。当時を振り返り「最初は車掌の正体を教えなかったから、彼は役作りができず困っていた。それは（物語を）謎にしておきたかったんだけどね。ゆっくり明かしていった。彼も納得してくれた」と明かした。物語は今も完結しておらず「次も彼に頼むつもりだったのに…」と残念がった。（スポニチ）

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.